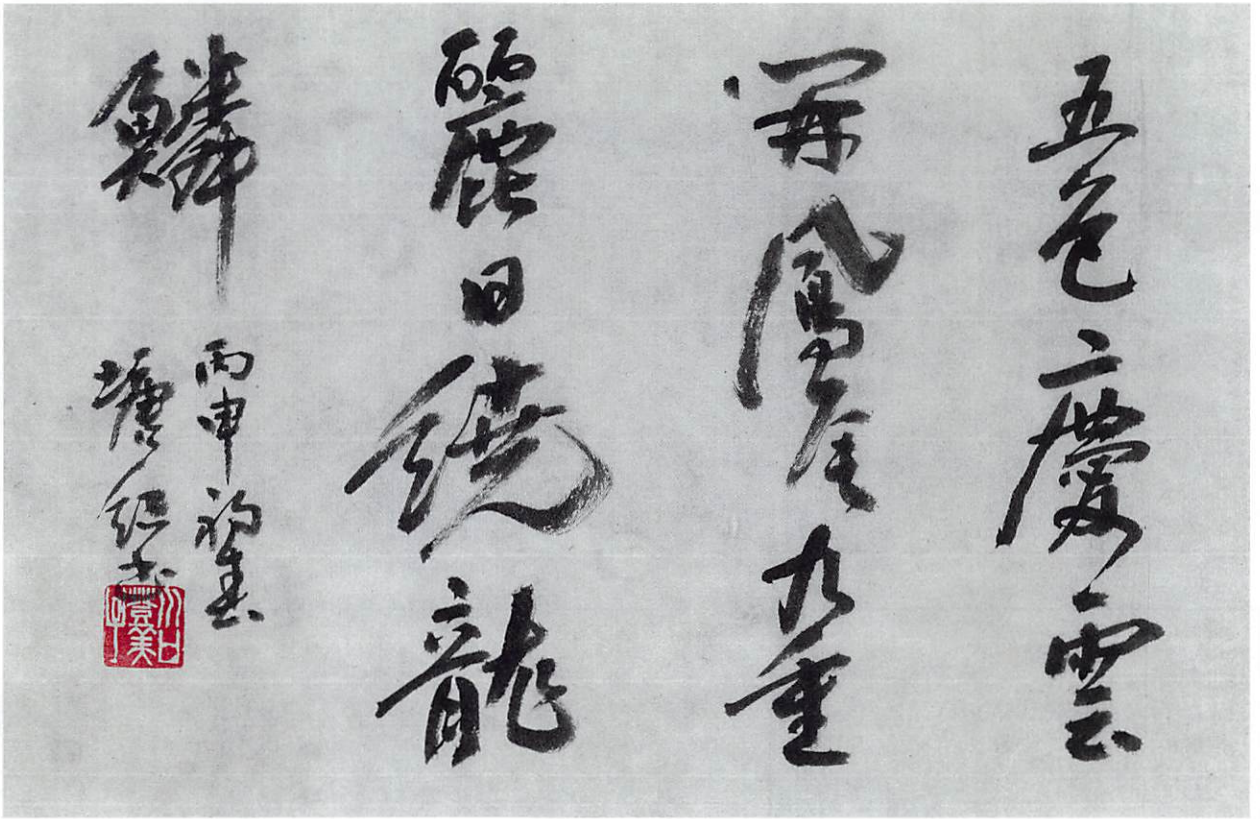


佐保会兵庫県支部だより

第39号

佐保会兵庫県支部事務局



五彩のめでたい雲は鳳凰の尾を開き
九重に照る麗らかな日は、龍の鱗の
ような老松をめぐっている。

川口 登美子 (S 39 家食)

「音訳」のこと

佐久間かず子 (S 28 文国)

昭和五十九年の秋、何気なく眺めていたNHK文化センターの講座案内広告の中に「ボランティアのための朗読」というのがあったのです。これが、私が音訳—文字を音声に変換すること—に携わるキッカケになりました。この講座の主な目的は、音訳を通して視覚障害者に図書を提供することにあります。当時、週一回二年間発声・アクセント・読み方などの勉強をしました。終了直後から、大阪の日本ライトハウス情報文化センターで、対面朗読を手始めに家庭録音を経て、二十数年前からはモニターとペアを組んでのスタジオ録音をして来ました。さて、耳で聞いて解るように読む、これは決してたやすいことではありません。例えば、小説などは聞く人が自由に想像できるように、音訳者は勝手な色をつけて読まない。つまり、不自然な抑揚や表情をつけず黒衣に徹する。同音異義の言葉には、意味の取り違えが無いように字の説明を添える。写真や図や表などは、前もって原稿を作っておいて過不足なく説明を添える。また、当然ながら人名、地名、参考文献などは、しっかり調査して正確に読むなど留意点は多いのです。今まで随分沢山の本の音訳を手掛けて来ました。文学作品もさることながら、駆け出しの頃に読んだ、紀田順一郎著「東京の下層社会」や、十余年前に手掛けた、色川大吉著「昭和史世相篇」などは、この仕事をしていなければ多分手にとることはなかったと思われる本です。特に前者は、その参考文献の多さと共に深く印象に残っています。また、江戸時代の木版刷りの東洋医学の諸本は、著者が岡本一抱—何と、かの有名な近松門左衛門の実弟—で、ビッシリ詰まった文語文は中々味わい深く得難い経験でした。

一冊の本の音訳作業は、訂正を含め何回にも分けて行うので、声の調子を一定にすべく体調にも留意するようになったのは思わぬ収穫でした。なお完成までには、モニターとのペアでの校正の他に第二校正、編集校正、更に全体を通してのデジ校正が入るのでかなり念入りの仕事だと思えます。

ごく自然な成り行きで始まった音訳は、何時の間にか私の生活に大きな位置を占めるようになりましたが、得る所の多い経験であったと思っています。

平成27年度 佐保会兵庫県支部総会

平成27年6月14日(日) 神戸風月堂

卒寿のお慶び

(昭和21年卒業)

小川 景子 様(保)

卒後55年のお慶び

(昭和35年卒業)

津村 直子 様(文教)
 木村 康子 様(理数)
 光上記久子 様(文幼)
 古川起与子 様(文国)
 上山 慶子 様(理物)
 森川 貞枝 様(家住)
 西川 康子 様(文英)
 渡辺 玲子 様(文史)
 兵井 文子 様(家住)
 塚口 郁子 様(文社)
 吉江 順子 様(理数)
 番 玲子 様(文幼)
 釜谷 美恵子 様(家被)
 山本 淑子 様

6月14日(日)平成27年度支部総会が神戸風月堂で行われた。当日は曇り空ながら、前日までの夏の暑さから解放されてまずまずの日となった。出席者数95名、これは支部総会始まって以来の参加数とのこと。舞台にはピアノが置かれ、午後からの演奏会への期待が高まる雰囲気だった。

総会は物故者10名の方への黙祷から始まった。岩崎支部長の挨拶では、最近心にとどまっていることについて話された。「大学の専門分野の延長で活躍する方達とは別に、専門外の世界で、自分の目指す道を自らの力量で開拓し、突き進んでいられる方として、国漢出身で文化勲章受章者の画家小倉遊亀先生を始めその様な方は多数おられる。本日の歌手もその一人。この方達に感動したり勇気づけられたり応援したくもなる。そういう気持ちで同窓会の連帯意識だと思ふ。佐保会が楽しい集まりである事を、一人でも多くの同窓会員に知って頂きたい。」

総会は「会次第」に沿って滞りなく進行した。特別企画第一部「大学の現状について」は所用のある学長に代わり副学長が話された。ユーモアを交えながらも、その内容は奈良女子大学の揺るぎない存続をかけた熱意を強く感じさせるものであった。特別企画第二部は、辛島美登里氏の「トーク&ライブ」。自作の詩を感情豊かに歌い上げる姿に、会場は感動の渦に巻き込まれた。盛り上がった雰囲気の中、出席者全員による校歌斉唱で総会は終了した。

(萬代 記)

- 哀悼 -

福原 房子 様(S15 保) H26.2.17没
 堀 ナツ 様(S16 B家) H26.4.4 没
 中田 和子 様(S20 家) H26.4.23没
 田村美都子 様(S15 保) H26.9.1 没
 木岡 悦子 様(S25 家) H26.9.21没
 友保 和子 様(S37 理) H26.10.20没
 井上 はる 様(S26 家) H26.11.28没
 今井ふさ子 様(S13 家) H26.12.13没
 正田 純子 様(S20 理) H27.1.6 没
 菊澤 道子 様(S06 家) H27.3.16没

平成28年度支部総会

平成28年6月12日(日)

ANAクラウンプラザホテル神戸
市営地下鉄「新神戸駅」直結

会 次 第

- 物故者に対し黙祷
- 開会のことば
- 支部長あいさつ
- 新入会員紹介
- 議長選出
- 議事
 - 平成26年度事業報告
 - 平成26年度収支決算と監査報告
 - 平成27年度役員承認および紹介
 - 平成27年度事業計画(案)
 - 平成27年度収支予算(案)
 - その他
- 記念品贈呈
- 卒寿のお祝い
- 卒後55年のお祝い
- 報告
- 特別企画
 - 一般社団法人佐保会および奈良女子大学同窓会佐保会第一部 大学の現状について
 - 特別企画
 - 国立大学法人第3期の課題と奈良女子大学の方針
 - お話し 奈良女子大学 副学長 小路田 泰直氏
 - 会 食
 - 第二部 トーク&ライブ
 - シンガーソングライター 辛島美登里氏(昭和60年家政学部生活経営学科卒)
 - 奈良女子高等師範学校校歌 斉唱
 - 閉会のことば



平成27年度 新入会員 (31名)

卒業学部	氏 名	地 区	卒業学部	氏 名	地 区	卒業学部	氏 名	地 区
文メディア	近 都 有 沙	小野市	理 化	塚 本 奈 緒	加西市	生環住	木 村 真理子	姫路市
文メディア	西 原 紅 葉	川西市	理 化	武 田 絵美子	川西市	生環住	田 中 香 帆	西宮市
文日垂	石 井 安佑美	神戸市北区	理 生	佐々木 晶 子	西宮市	生環住	横 山 智 美	三田市
文日垂	平 位 彩 夏	多可郡	理 情	熊 谷 有輝子	姫路市	生環文	山 下 真利子	神戸市東灘区
文欧米	飛 田 尚 美	西脇市	生環食	大 田 薫	三田市	博前食	江 角 友 美	宝塚市
文欧米	中 本 美音里	神戸市垂水区	生環食	小 西 由 真	西宮市	博前物	勝 山 恭 子	三田市
文教・人	横 山 奈 穂	小野市	生環食	仲 田 英里子	鳥取県	博前化	中 井 絢 子	尼崎市
文スポ	藤 井 有 優	神戸市東灘区	生環食	中 本 博 子	神戸市垂水区	博前生	亀 岡 里江子	奈良県
理 物	神 野 早 紀	小野市	生環健	水 上 友 里	西宮市	博後共	小 林 真 弓	西宮市
理 物	住 田 磨 友	明石市	生環健	岸 本 陽	美方郡			
理 化	上 垣 美 帆	養父市	生環住	朝 田 里 菜	姫路市			

(敬称略)

特別企画第一部「大学の現状について」

国立大学法人第三期の課題と

奈良女子大学の方針

奈良女子大学副学長 小路田泰直氏



学長は若手研究者育成の件で文部科学省へ出張された為、副学長が話された。

学長からは奨学金「なでしこ基金」を立ち上げるので佐保会員の協力をお願いして来るように、と云われて来た。研究を志す若手に手を差し伸べて下さい。

国立大学が法人化されて以来、来年から第三期に入るが今期は非常に厳しい状況にある。文科省からの奈良女に対する交付金は減少傾向にあり、現在はお茶大より約10億円少ない。のんびりしていた期間が長かったのかもしれない。研究費は絶対的に奈良女の方が多い。第三期は分類化の時、大学を三つに分類。第一は地方に貢献する大学、第三は世界トップ百を目指す大学、その他は第二分類の大学。事実上、大学の差別化である。そんな中で自分の大学の特色をアピールして財源を獲得することが大切となる。あの手この手努力はしている。功を奏し理系の女性リーダーを養成する為の資金を億という額で獲得する事が出来た。「なでしこ基金」活動も評価されてのことだ。これから世の中に貢献しようとしている若い人に危機感を持ってなどという事は酷いこと。国立大学は絶対に潰れないし潰せない。この15年間のノーベル賞受賞者15人は全て国立大出身者である。マンモス学生数を擁する私立大理学部では補う

事は出来ない。

奈良女の特色は何か。女子の大学であること。重い物も男性の力を借りずに処理する能力がある事だけではない。(笑)理学部の研究のクオリティとヴォリュームがあって、クオリティはトップクラス、ヴォリュームは残念ながら4ぐらいの成績で下の方。規模が小さいので仕方がない。生活環境学部は必ず一位か二位だ。家政学部という伝統があつての事。奈良女は充分闘つていけるのではないかと思つている。女高師時代は全国から才媛が集まつて来ていた伝統のある大学だ。

男女の能力の何が違うのか？物事を専門化して見るのは男性の、広く総合的に見るのは女性の得意分野だ。全体を俯瞰する力を発展させて行けば良いと思う。この発展させていく力が男性中心社会ゆえ全体的に弱い。日本の弱さに繋がっている。実例としてコンピュータがある。一部の技術の開発は日本が先行していたが、大衆が使えるようにし、商品化したのはアメリカのアップル社であった。奈良女には変革の先頭に立つていく力がある。女性的感性が純粋に大きく伸びる環境があることは大事だ。ここで大きく伸びて一人前になつてから社会に出て戦う。男女別学は意味があると思う。理工系の女性リーダーの数は圧倒的に少ない。男女平等と云いながら現実には平等ではない。本学のような大学はこの様な環境を破つていける。女子大の特色を卑下する事はない。女子大初の理想的な大学にしたい。女子大としての本学の特色を最大限伸ばして行くと思つている。

他の特色の一つは、学生が全国から集まつていることだ。地元奈良県からは一

割弱程度。これは伝統のある大学の大きな特色である。この点からも地方大学にはなり得ない。

地域とはきちんと付き合つて行きたい。和風、大和魂、大和を舞台にして日本は生まれた事などを含め、もつと奈良を研究したいと思つている。(拍手)(萬代記)

特別企画第二部

辛島美登里さんをお迎えして

(S 60家卒)

今年度は、シンガーソングライターとして活躍の辛島美登里さんをお迎えして、トークを交えたライブを楽しませて頂きました。

舞台にはピアノ。ご本人の登場でいよいよ開演です。まず、ご自身の歩みを語つて下さいました。子供の頃から歌つたり曲を作つたりすることが大好きだったので、大学は奈良女を選ばれ、在学中に「雨の日」の曲でヤマハポピュラーコンテストのグランプリを受賞されました。これをきっかけに音楽の道を目指されることになりました。

この曲は、矢田寺の山一面にたくましく咲いているアジサイに感動して書かれたもので、初めて世に届けた曲と



してピアノの弾き語りで歌つて下さいました。どこか懐かしい情景が浮かんできます。

卒業後、さらにシンガーライティングの研究を積み、多くのシンガーに楽曲を提供されると共にCDデビューを果たされました。1995年には「愛すること」で日本レコード大賞作詞賞を受賞されています。

次に、アニメ「YAWARA」のエンディングテーマ曲「笑顔を探して」を、続いて、テレビドラマ「クリスマス・イヴ」のテーマ曲「サイレント・イヴ」を披露して下さいました。この曲は、恋に悩む人に寄り添い、都会の行きかう人々や憧れの雪を背景に作られたそうです。とても透明感のある美しい声で、温かくさり気なく応援する気持ちが伝わってきます。クリスマスソングとして大ヒットした所以だと思えます。

さらに、印象的なトークが続きます。「道を外した人達に接する機会があつて、社会に戻れる身近なドアが音楽ではないかと思つた。今でもその方々との再会を待っている」とお聞きし、感動です。

また身近な方を見つめて感じられた、年をとることの意味をお話され、「命は最後まで燃やして生き抜いてほしい。笑顔で年を重ねましょう。後に続く者の目標となるように」とのメッセージがありました。

最後に、「手をつなごう〜ひとりぼっちじゃない〜」の曲で、皆でつながりを確認しました。

どんな時でも「よし！頑張つて行こう」という気持ちを届けてくださる「辛島ワールド」。有意義で、楽しいひとときを過ごすことができました。(山段 記)

楫 (ゆずりは) の 会 平成28年度 (含27年度3月) 行事予定

月 日	内 容	会場・行先	時 間	講師(敬称略)	備 考
平成27年度 3月24日(木)	茶論(サロン)パートⅠ 「ゆずりは」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	参加者全員	・今関心のあることは? ・貴女の元気のもととは? ・お気に入りスポット 等色々な話題で茶論を!!
平成28年度 4月28日(木)	人の胃に寄生する ピロリ菌について	神戸市勤労会館	13:00~15:00	長田 久美子	資料は準備します
5月26日(木)	美術鑑賞	会場は後日連絡	13:00~15:00	学 芸 員	解説付き鑑賞 入館料 実費
7月28日(木)	文学 与謝野晶子 -「君 死に給うこと勿れ」-	神戸市勤労会館	13:00~15:00	岩崎紀美子	資料は準備します
9月22日(木)	ワークショップ 「切り紙でモビールを作る」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	中井 昌子	カッターナイフ、紙切 り鋏、あれば持参して ください
10月27日(木)	食文化 「和食の魅力」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	岸本 律子	資料は準備します
11月10日(木) 第2木曜	第17回 佐保塾 史跡巡り 日本三古湯 「有馬温泉の歴史散策 -泉源と紅葉を訪ねて-」	有馬温泉	集合場所: 神戸電鉄 有馬温泉駅 集合時間: 11:00		会費: 3,000 円 昼食代・ガイド料等含む 申し込み要
平成29年度 2月23日(木)	音楽療法を知る -お話と実習-	にしむらコーヒー御影店 阪急御影駅 南出口から南へ4分	13:00~15:00	音楽療法士	会費: 1,200 円 ケーキセット付き 申し込み要
3月23日(木)	茶論(サロン)パートⅡ 「ゆずりは」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	参加者全員	茶論(サロン)パートⅠ を踏まえて

*事情により日時等変更することがあります。 *入会は随時 佐保会員以外の入会も歓迎 *会費 年間1,000円、当日のみ参加300円
*申し込み要 下記の運営委員、又は楫の会のEメール (yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp) にご連絡下さい。
なお 年間行事の近々の予告や終了した行事内容は「佐保会兵庫県支部」のホームページにUPされていますので、ぜひご覧ください。

平成28年度 運営委員 鈴木 美根子() 片寄 真木子() 山下 知子()
中井 昌子()

姫路城見学

大橋 節子 (S41文英)



5月28日
「白鷺城」
へ、講師は
植岡真弓さ
ん。大手門
をくぐり場
内を一巡り
した。修理
を終えたば
かりの天守
閣は夏の日
差しに白く
輝いている。漆喰壁の塗り替え、屋根瓦
の葺き直しを中心とか。

夏空の雲より白き天守閣
この地に赤松氏が砦を築き六百年、池
田輝政が築城して四百年。その間、黒田
官兵衛がこの城で誕生、官兵衛の勧めで
秀吉もこの城で3年過ごした。野面積み
の石垣は当時の姿を留めている。また、
この城の随所には、闘いへの知恵を秘め
た仕掛けが美しい形で残っている。その
一つが狭間、櫓、土塀などに、弓矢を放
つ為の穴が三角、丸、四角と多様である。
あまたなる鉄砲狭間みどりさす
また、勢山には原始林や断崖が軍勢が
潜むための役目を果たしていた。
江戸時代にタイムスリップしたのは、
西の丸の千姫櫓の百間廊下を歩いている
時。頑丈な木造建築で、空から眺める城
下町は全方位。仲睦まじく十年間過ごし
た千姫はきつと毎日眺めていたと思う。
好古園で昼食。大工棟梁源兵衛のこと
名水のことなど聞き楽しい歴史散歩であ
った。

「食文化―高齢者の食事―」 の講義を聴いて

谷口 ミサヲ (S41文史)

9月24日岸本律子氏の講義に出席した。
長年私は変形性膝関節症を患い、好きなテ
ニスもゴルフもできなくなり、平日頃食生活
や運動に関心があったので、とても勉強にな
った。

日本人の平均寿命は男女とも延びている。
問題は健康寿命(自立して健康に日常生活が
できる年齢)を延伸し、平均寿命との開きを
縮める事だ。女性はその差が約13歳とか。平
均寿命86・83歳、すると健康年齢は約74歳だ。
私はもう健康年齢の限界。1年でも延伸する
べく努力が必要だ。

メタボ予防は勿論、最近人口に膾炙されて
いるロコモ(運動器の障害のため運動機能の
低下)予防のため、筋肉量と質を向上させる
適度な運動が大切。そのためにはバランスの
とれた食事と適度な運動と日光、そして歯を
大切にし、食べる喜びを持続していく事。
最後に老化を遅らせるための食生活の8か
条をあげられた。

- ① 欠食は避ける
- ② 動物性食品を意識して食す
- ③ 魚と肉の摂取割合は1対1
- ④ 油脂類の摂取不足に注意
- ⑤ 毎日牛乳を200ml
- ⑥ 食材の調理法や保存法を知る
- ⑦ さまざまな調味料を上手に使いおいしく食べる
- ⑧ 自ら食料品の買い物と準備をすること。

出席者の活発な意見
が行きかい、経験が話
され瞬く間に2時間は
過ぎた。

各地のもより会でも
この講義内容を話題に
したら議論百出、活発
な会となるだろう。
有意義な時間をあり
がとうございました。



ホームページ研究会

平成28年度、念願であったスマホ対応を含めて、ホームページを一新致します。サロン・ド・パソコンでは「無料アップデイトのWindows10について」何が便利になったかなど、紹介しあう会を設定しました。昨年度消化できなかったテーマなど、対象外ではありません。地区便り応援としてブログ作成を設けました。個人の方も歓迎します。「読書会」が東灘区から独立、誕生しました。このような会をホームページでお知らせ出来ることを願っています。

中村 京子 (S32 理物)

**丸岡玲子氏による
恒例のパソコン講座**
「ITで開く新しい世界5」
平成28年3月14日(月)
14:00~16:00
場所: 神戸市勤労会館
ITで開く更なる世界
ご期待ください。

もより会報告

もより会の継承

佐藤 美子 (S48 文史)

尼崎地区のもより会は、長い間佐保会理事もなさっている片寄様など先輩諸姉のご尽力で維持されてきました。しかし参加者の固定などの問題もあり、平成24年に地区リーダーを卒業年次順に2年ごとに指名する形をとりました。これで28年度までは一応リーダーが決定していますが、次の予定の方がひきうけて下さる保証はないので、若い方の参加をうながす努力を続けていかなければなりません。ではどうすればみなさん参加して下さるでしょうか。お仕事のある方は平日のお食事会参加は難しいと考え、土日にかかるとか、試行錯誤が続くと思います。

もより会は同窓生を地域ごとに縦に結ぶ会です。はじめは未知の人の集まりですから普通の同窓会とはちがいます。そこに意義も難しさもありますが、なんとか継承していきたいと思っています。

平成28年度 ホームページ研究会行事予定

月 日	内 容
平成28年4月20日(水)	Windows 10 について ホームページビルダー プログ作成
5月18日(水)	ホームページビルダー スマホ
6月15日(水)	Windows 10 について ホームページビルダー プログ作成
7月20日(水)	ホームページビルダー タブレット
9月21日(水)	Windows 10 について ホームページビルダー プログ作成
10月19日(水)	ホームページビルダー タブレット
11月16日(水)	Windows 10 について ホームページビルダー プログ作成
平成29年1月18日(水)	ホームページビルダー タブレット
未 定	

平成28年4月~平成29年1月の行事の場所・時間は以下の通り
場所: 県立神戸生活創造センター(クリスタルタワー5F) 時間: 13:00~15:00

睦会報告

川田 多栄 (S45家住)

第40回「睦会」は、平成27年11月11日(水)湊川神社の楠公会館にて開催され、朝から晴れて肌に冷たい風が秋の深まりを感じさせる中36名が集いました。

支部長・岩崎雅美様のご挨拶に続き、高林幸子様乾杯の音頭で会食が始まりました。懐かしい話を花を咲かせながらお食事を楽しんでいるうちに「なごやかタイム」となりました。「手のひらを太陽に」を担当学年のお手本を見ながらフリ付きで歌って体をほぐした後、俳句ゲーム。各テーブルに俳句を3つに切ってばらばらにしたカードが配られ、それを組み合わせて俳句を完成させるというゲームで、協力しながら速さを競い合いました。その後参加者最高齢(S23卒)の那須瑞子様のお話をお聞きしました。舅姑に仕えられた後、絵を始められ、今は俳画教室で教えておられるとお聞きし、また背筋をシャンとしてお話される立ち姿を拝見して、生きる姿勢によって美しく年齢を重ねる事ができる(!)という希望が持てるように感じました。最後に校歌を斉唱して閉会となりました。



平成27年度 地区リーダー

地 区	氏 名	卒年・学部学科	地 区	氏 名	卒年・学部学科	
神戸市	東灘区	S44 文英	阪神北	川西市 (川辺郡)猪名川町	S39 理数	
		S54 文英			S47 家被	
	灘区	H15 博後生	三田市	明石市	森 由紀	S56 家修被
		H1 文教			岩崎 雅美	S44 家被
	中央区、兵庫区、 長田区	S52 家食	東播磨	加古川市、高砂市 (加古郡)播磨町、稲美町	吉岡恵美子	S50 文史
		S57 文国			永田登喜代	S45 理数
	北区	S59 文国	北播磨	西脇市、三木市、 小野市、加西市、 加東市 (多可郡)多可町	田中 明子	S43 文幼
		S62 理生			岸本 律子	S44 家修食
	須磨区	S35 文幼	中播磨	姫路市 (神崎郡)神河町、 市川町、福崎町	山本三和子	S55 理化
		S41 文英				
垂水区	S50 理数	西播磨	相生市、たつの市、赤穂市 宍粟市(揖保郡)太子町 (赤穂郡)上郡町 (佐用郡)佐用町	米田 純子	S40 理動	
	S54 理修生					豊岡市、養父市、朝来市 (美方郡)香美町、新温泉町
西区	S53 文英	但馬	篠山市	小林 嘉子	S37 家被	
	S59 理化					丹波市
尼崎市	S50 文国	丹波	洲本市、南あわじ市、 淡路市	奥田 敦子	S52 文国	
	S50 文修史					
西宮市	S46 家被	淡路				
	S46 家住					
芦屋市	S49 理化					
	H1 家修生					
伊丹市	S57 理修生					
	S58 家被					
宝塚市	S44 文英					
	S45 理動					

平成27年8月30日、神戸市勤労会館で第21回を開催。18地区のリーダー、樺の会・ホームページ研究会・睦会の各代表、支部だより編集委員と事務局計35名が出席。支部長からは「先ず、地区内の親睦をはかって下さるよう」強調。続いて「ホームページ研究会規約」第2条に関連して中村代表が実際の支部のホームページを開き全員で「各地区だより」を視聴。今後更に「各地区だより」の投稿と「サロン・ド・パソコン」参加者の増加を願います。今年も熱心な前向き発言が多く聴かれました。

地区リーダー会報告

松本 佳代子 (S44 文史)

エドヒガンの群落



エドヒガンは日本在来の桜で、現在の代表種ソメイヨシノは、エドヒガンと、同じく野生種の大島桜を交配した園芸品種である。ソメイヨシノの樹齢が数十年であるのに対し、エドヒガンは数百年と長いが全国的に個体数が少ないので日本各地で天然記念物に指定されている。兵庫県下でも絶滅危惧種に指定され猪名川上流域、但馬西播磨などで見られない。知明湖(チミョウコ)周辺を中心に猪名川上流域は妙見の森桜谷、妙見ケーブル横斜面、黒川桜の森、国崎クリーンセンター、一庫公園、水明台溪のサクラなど群生地が集中しているのが特徴である。中でも国崎クリーンセンターの敷地内には250本ほどが自生していて、これほど規模の大きい群生地は日本でも他に例がない。

ではなぜ猪名川流域に群生地が多いのか。エドヒガンは適度の湿った土と明るい光を好む。昔、人の手が入った里山であったこと、知明湖周辺では古くから銀・銅の採掘が行われていたので間歩(マブ)と呼ばれる坑道が無数にあり廃棄物の土等がむきだしになっていたこと、製錬に必要な燃料を得るため里山林の輪伐が活発に行われて光が入っていたことなどが考えられている。

『日本一の里山』黒川



北部に位置する黒川は民家の周囲に段々畑、棚田、エドヒガンの群落、クヌギ林などがあり「日本の里山100選」にも選ばれ、日本一の里山と呼ばれている。この地では、今でも茶道に使う菊炭が作られている。そのため毎年場所を替えて一定面積のクヌギ林を伐採している。それにより山は美しいパッチワーク模様を生みだしている。炭はクヌギの枝の部分を使用するので幹から伸びた枝を繰返し伐採するため幹が太くなって独特の形状の台場クヌギとなる。台場クヌギの林は「林業遺産」として選定され、遊歩道も整備されている。台場クヌギに集まるカブトムシ、クワガタをはじめ珍しい蝶も生息し豊かな自然を作っている。

国崎クリーンセンター

猪名川上流広域ごみ処理施設として平成21年4月より稼働。環境に配慮して排ガスなどの基準は、法規制を上回る厳しい自主基準を設け、世界のトップクラスの処理技術が可能にした。さらに資源の有効活用として雨水の再利用、太陽光発電、ごみ焼却時の熱エネルギーの利用

恵まれた川辺

猪名川に沿って細長く伸びる黒川地区や一庫ダムが共存する風光明媚な地域である。近年に大規模住宅団地がいくつもあり、タウンとして成長してきた。南部は温暖な気候を形成している。新名神高速道路と川西ICの工事が急ピッチで進んでおり、活性化することが期待されている。



一庫ダムと周遊マラソン

ごみのリサイクル等を積極的にこなしている。施設の裏山は広大なクヌギとコナラの林となっておりエドヒガンが群生している。センターはこのような豊かな自然に調和する施設運営と里山林整備の役割を担っている。

一庫ダムは昭和58年に竣工、高さ75m、重力式コンクリートダムである。猪名川流域の治水、川西市をはじめ尼崎市など猪名川に近い各自治体への上水道供給を目的とした多目的ダムである。ダムによってできた知明湖は景観に恵まれ「ダム湖100選」に選ばれている。大都市圏に近く、近辺にはベッドタウンも多い。この便利な立地でこの規模のダムは、全国的にも珍しい。そのためか、たくさんの方がレジャーを楽しんでいる。11月、秋が深まった頃の知明湖周辺の景観は見事である。この季節を選んで毎年恒例の「川西一庫ダム周遊マラソン」が開催される。



水と緑に 川西

川西・川辺地区は北から南へ縦貫している。北部は日本一の里山としての知明湖周辺など人と豊かな自然が共存する。北部から中部にかけて昭和40年ごろにも開発され、神戸・大阪のベッドタウンとして発展。自然を背景に良質な住宅がストックされ、通勤と交通に恵まれて市の中心市街地と異なり、更に中部で平成29年3月完成を目指す新幹線(石道)及び東西を結ぶインター線が開通。新たな町づくりが始まり地域が活性化している。

国史跡 「多田銀銅山遺跡」

多田銀銅山は、大阪平野の中心部から現在の北摂七市町に跨る鉱山で、そこには約2000年の間歩(坑道)があり、採掘から製錬まで行われていた。その中心地が「多田銀銅山」であった。この地域には代官所や番所、間歩群が存在し、江戸から明治に至るまでの産業技術史を知る上で良好な状態で残っている事から、平成27年6月「多田銀銅山遺跡」として国の史跡に指定された。

歴史は古く奈良時代に東大寺の大仏鑄造の際、銅を寄進したという伝承があり、平安時代には源満仲が銀銅山を目当てに多田庄を開いたとも言われている。

豊臣秀吉の時代になると本格的に鉱山開発が始まり、陣屋を置くなど積極的な開発で大量の銀が発掘された。大阪城の財政を潤す程の産出量があったと言われる程で、その坑道は「台所間歩」「瓢箪間歩」として残っている。



青木間歩

江戸時代に銀の含有率の非常に高い大鉱脈を発見、幕府の直轄地として代官所(役所)を設置、明治2年廃止されるまでの約200年間多田銀銅山の支配に当たった。労働者の家が建ち並ぶ様子から「銀山三千軒」と云われる程にこの地は栄えた。銀山の出張所として山下町下財(ゲザイ)でも製錬が行われた。

昭和19年日本工業が機械を使って掘り下げたが、48年閉山となり、多田銀銅山の長い歴史に幕を閉じた。

けやき坂石舞台



無形文化遺産第一号となった「能」。

川西市けやき坂に、彫刻家流政之氏の制作された石舞台があり、そこで、奈良で生まれた能楽金春(コンパル)流

の能が演じられだして20数年経つ。ある年の「船弁慶」。暗闇に薪が灯す妖しい光、その隙間から現れた静御前の舞が炎のゆらめきに隠れると、いよいよ幽玄の世界。そして、鬼気迫る平知盛が義経一行におそいかかる迫力。前シテ静御前と後シテ平知盛を金春欣三氏が演じられた。金春氏の特別の計らいで楽屋を見学した。留学生の男子は、重い能衣装と能面をつけてもらい、小さな穴から足元は見え難く体を安定させて歩くのは大変だと言った。

川西の桃とイチジク

川西、猪名川町の特産品はイチジク、桃、栗が有名。最近ではイチジクの栄養価が評価され、川西では生食としては勿論、ワインやカレー等に加工されて人気上昇中。桃は弥生時代の加茂遺跡がある南の台地に約4ヘクタールに広がり40数軒の農家が栽培。川西の桃は6月末から



7月初旬、他府県に先立って販売され人気がある。後継者がいないという農業問題は川西でも例外ではなく年々生産農家が減少している。

今はかつての桃畑に家が立ち並び桃の栽培が盛んであった往時の面影をわずかに残すだけとはいえず、桃畑は花の季節はもちろん、葉が生い茂る季節の風景も趣があり楽しませてくれる。



レフネツク

職場のニーズに応じて最新知識を身につけたい人や、定年退職で余暇ができた人達の強い学習意欲にこたえているのが大学の成人講座であるが、近くに大学のない川西市が考えたのが、大学の講義と同じレベルの講座を提供する短期大学レフネツクである。学長は木津川計氏。年間20回、2年間に亘り履修する。基本的に科目毎に1大座が担当される。毎年2学科が募集され、土曜日に4講座が開かれている。相応の受講料を負担するが、市民の圧倒的支持を受け、今年の22期生から定員を一学科100人に増やしても、倍率はなお1.5倍だ。

修了後は、次の学科を模索する一方、同好会や研究会を結成し、活発に自主活動をしている。機関誌を発行し、既存の会とも連携して見学会や講演会を共同開催したりするので、予定表はいつも黒く、友人、知人は増える。

道はそれぞれ

ドーバーの白い崖

鈴木 玲子 (S26家)



「行こうね！ドーバーの白い崖」

60余年前、映画が終ったとき、夫がそう言った。当時、日本では外国へ行ける航空会社もな

く、海外旅行なんて夢のまた夢であつた。

それから25年、チャンスの兆し、自宅で料理教室を開いていた私は、

売り出され

たばかりの電子レンジを買った。日本経済新聞の記者が使つてみた感想を聞きに来てくれた。それがきっかけで新聞社と生協が企画した台湾旅行に招待された。

台北は父の転勤で5年間住んでいた町。夫や二人の娘たちも勤めてくれたので一週間の旅に出た。台南や台中へもまわる楽しい旅だった。この時用意したパスポートは有効5年。でも使つたのはこの一回だけであつた。

それからまた10年。シンガポールへ行くという長女が一緒にと誘ってくれる。もうすぐ二歳になる孫は、親が抱いてい

ればパスポートがいらないから、今がチャンスということらしい。

小さい子供を連れて行つて大丈夫だろうかと心配したが行つてみれば娘の言う通り。蘭の花がいつぱいの空港。街の中にはゴミ一つ落ちていないし、でっかいショッピングモールが、昔からの聳えるようなホテルと並んでいる。めざましい独立国。私は井の中の蛙だった。今回は一回だけの旅で終わらぬよう念じながらパスポートをとる。

あるとき、外国の国境などについての私の頓珍漢な質問に閉口した夫が「ヨーロッパへ行つて、見てくれば」と言った。夫は仕事もあり学徒出陣のおり結核に感染、その後遺症で海外旅行は無理。「では私が代表で行つてきます」と話は決まつた。

そんな時、ドイツのワイン会社が「ロマンチック街道ツアー」を企画。「良いんじゃないか」と夫も言う。二人の娘にそれぞれ孫が二人ずつ。私の母親としての務めも一応終わつていた。初めてのヨーロッパ旅行。体中の細胞がパチパチとはじけるような気分だった。

ローテンブルクのホテルに着いたのがチェックインの時間より早かつた。荷物をフロントに預けてしばらく解散。クリスマス用品の素晴らしい店があると聞き皆ぞろぞろとその店へ。明るい店内に珍しい飾り物が沢山ある。奥の方へ行つて一つだけ選んでレジへ。計算に時間がかかつて待たされる。やっと終わつて、まわりを見渡して真っ青になつた。

日本人がいない。しかも私はホテルの名前を憶えていない。フロントの藤椅子に腰かけて休んだことしか記憶にない。

方向音痴は承知の上、広い通りに出てホテルとみれば片端から飛び込んだ。三つ目のホテルであの藤椅子に逢えた。背中の寒さが薄らいで、ふーっと深呼吸。

「ゴルディナーヒルシュ(金の鹿)」と立派な看板が出ていた。それからはホテルの名前と電話番号を持ち歩くようになった。その後、レイニスフォーラムの始まるのを聞き入会、毎月ヨーロッパの地歴を勉強する。一年に一度海外旅行がある。希望者は毎月積み立てをして旅費に使う。

習つていた篆刻の会では自分の作品を持つて、中国との交流展が毎年ある。勉強の後、中国の人と話しながら食事をして、遺跡の見学などする。内モンゴル・フフホトの交流展で聴いた馬頭琴の風に吹かれるような音色が浮かぶ。砂漠のパオへの往復は各自で手綱さばきをした。姿勢を正しての馬上の気分は今も鮮やかに蘇る。



或るとき、申込んであつたモロッコが催行出来ず、イラク旅行を勧めてくれた。1997年湾岸戦争が治まった後でまだ

直接イラクへ入れず、イランから緩衝地帯を歩いてイラクへ入つた。チグリス・ユーフラテス川を右に左に見ながらイラクを縦断することが出来、紀元前の自然のままの遺跡も沢山見ることが出来た。甘いナツメヤシの実を食べたりして、感慨ひとしおであつた。

エジプト、シリア、ヨルダン、ウズベキスタン、ロシア、ペルー・・・体力のあるうちにと行き先の気温などに合わせて出発する。いつの間にか61か国、70回もの海外旅行をしていた。大阪にいる娘夫婦が何かあればすぐ留守宅に駆けつけるからといつてくれるので安心して出かけることが出来た。感謝、感謝だ。

いま91歳の夫は脚を慣らすため坂の多い能勢街道を歩いている。結核の後遺症であつた腸閉塞の手術が十数年前に成功が叶い、一緒に23回。娘たちも応援隊で同行10回。閑空で四人の顔が揃うと何故かほつとする。

約束の「ドーバーの白い崖」は機上からは何度か見た。すぐ横を通つたユーロスターからは、トンネルの中なので全く眺められない。「ドーバーの崖には」と尋ねてみると「まだまだ行きたい所がある。ドーバーはその先だ」と夫はのたまう。

地球の表面には自然の大きなうねりがゆつくり動いており、そのうねりの中で人間は生きてるように思う。オプティミスト、楽道家だと夫に言われるが、世界の皆が平和に暮せる手立てはあるのだろうか、機上で考えさせられる。

海外ボランティア

草の根の書道文化発信

川口 登美子 (S39 家庭)

教師生活を数年で退職し、趣味であった書道を仕事にして40年になる。その間、展覧会へも出品し、入賞経験もしながら頑張ってきたが、60歳を迎えた頃より、書道を通して社会貢献もしたいと思うようになった。

以前より、留学生など自宅へ受け入れて、茶道も書道も紹介しているが、今は自分から海外へ出かけるボランティア教師をしている。

毎年行っているベトナムの大学では、アオザイを着て授業をし、「プロフェッサー オブ カリグラフィ」として迎えてくれる。日本語を学んでいる学生もそうでない人たちも、難しい漢字に興味がある。彼らは親を大切にしたいので「孝行」、国家の為に働きたいので「忠孝」だとか書きたい人が多い。スエーデンの芸術クラスの学生は、絵を模写するように表現し、「太陽」と紙いっぱい書き、また、「鳥」の草書に分かる人もいた。

ワシントンの桜まつりのパレードの路上教室へは、老若男女が多数集まり、若いカップルは「侍」「愛」に人気があった。北アイルランドの高校では、日本車を持つている家庭が多く、「本物の日本人」として歓迎された。「漢字、かなを使う



日本人は頭がいいなあ」とも。ホームステイをした家族と教会でスクラメントの体験も、また集まってくれた婦人会の人達とは書も。「薔薇」を自由な筆順で書き、何とか形が出来た。

オーストラリアのパースの小学校では「山」の字を説明しても、高い山のない地方の子供たちにはわかってもらえなかった。ホームステイの家族は私の持参した銀行からの粗品のティッシュを見て、「日本の銀行はプレゼントくれるの、とみ子は貯金しているの、それなら医療費払うのでしょ」と。また、「以前日本の学生を預かったけど、彼女はすぐ自分の部屋に行ったわ。とみ子は何でも話せて楽しいわ」と。

その他、ニュージーランド、ポーランド、マレーシア、ロシア、タイ等へ行っている。

50本の筆と、紙、墨汁を持ち世界各地へ出かけている。10日余りの旅を終えて帰ると「帰る家があつていいね」と夫。「平和の種を播いておいてね」と息子たち。



少年事件の付添い人を経験して

谷口 ミサヲ (S41 文地)

「家庭に平和を、少年に希望を」をモットーに各家庭裁判所には「少年友の会」という弁護士、調停委員、元調停委員等によるボランティア団体がある。私は調停委員を退いた後も少年友の会に留まり微力ながら活動を続けている。

付添い人活動とは、父母または身寄りのない少年の保護者の代わりに少年審判に立会い、審判官に意見を具申する。そのためには少年鑑別所にいる少年に数回面接し、場合によっては親や学校の先生職場の上司等にも会い、少年の更生のためにはどんな処遇がよいのかを模索する。付添い人に選定されてから審判までの短い期間に前述の活動をしなければならぬ。心を閉ざした少年と上つ面をなでたような面接しできないときもある。

「短い期間だけれどあなたのことを一生懸命に考えているよ。悪の道へ引きずりこもうとする大人も確かにいるけど、がんばって生きてきたあなたを応援している大人もいっぱいいるんだよ。困ったとき、苦しいときは助けて、と言ったらいいよ。あなたの気持ちをキャッチしてくれる大人が必ずいるはずだから」というスタンスで少年と接するようにしている。両親離婚、親の自殺、虐待、貧困、いじめ、不登校等々 少年を取り巻く環境は厳しい。私は決して非行を認めるわけではないが、肩を怒らしてでも生きてきている少年たちに愛おしささえ感じています。

こんなケースがあった。両親は幼少時に離婚しそれぞれ再婚したので、祖父母のもとで育てられた。が、高校中退後、住む場所も定職もなく、結局不法侵入、窃盗で逮捕された。元アルバイト先の社長が少年の仕事も住む場所も提供してくれ、更生の道を歩んでいる少年。私はこのケースに社会の底力を感じた。少年にもこの社長のように成長してほしいと語りかけた。

非行に走りそうになっている少年がいる。非行を犯しながらも立ち直りたいと一生懸命生きている少年たちがいる。もし彼らのまわりに気がついてくれる大人、声をかけてくれる大人、働く場所を提供してくれる大人がいたら少年たちは立ち止まるかもしれない。まっとうに生きていく力をつけるかもしれない。

佐保会員の人たちは職場や地域で活躍なさっている方が多い。そんな佐保会員なればこそ未来を担う子供たち、少年たちに声をかけ、いつくしみ、支援していくことができるのではないかしら。



戦後70年

平和な暮らしの中で

社会人になって

岸本 祐香 (H26理物)

私は高等専門学校を卒業後、平成24年に理学部物理科学科に編入しました。時間が経つのは早いもので、今年で社会人2年目となりました。

私が配属されたのは、鉄を扱う部署で女性総合職の採用が初めての部署でした。もちろん第一希望だったので嬉しかったのですが、女性のロールモデルとなるとプレッシャーをかけられ、不安も多くなりました。しかし、グループ全体ではOGの方が多く在籍しており、お昼休みに悩み相談を聞いて下さったり、定時後に英会話のクラスに誘って頂いたり、居心地の良い環境でいられるようなサポートを惜しみなくして頂きました。これは奈良女子大学

ならではの面倒見の良さが表れていると思います。先輩方が積み重ねてきた実績と信頼があったからこそ、この会社に入社できたと思うので、私も奈良女子大のOGとして胸を張れるように努力していきたいと思えます。

プライベートな話となりますが、仕事後の帰宅時間は夜10時を超えることも多くあります。なので、フリーな時間は以前よりも大切に過ごさようになり、大変充実した生活を送っています。

休日は旅行に出かけることが多く、最近はお城巡りを行っています。また、ジムを始め半年以上になり、水泳やランニング以外にもダンスやヨガなどを楽しんでいます。また、自己研鑽で英語の勉強も少しずつ行っています。苦手な英語ですが、グローバル化に伴い英語能力が要求されますので、海外旅行を自分へのご褒美にしてTOEICの勉強や英会話など少しずつ進めています。いつかは海外で働く日が来るかもしれないですが、どんな状況下でも楽しんで過ごせるような人になりたいと思います。

猫と暮らす

川田 多栄 (S45家住)

わが家には4匹の猫がいる。晴れた日には窓を開けて風を入れたいが、網戸にすれば5才の雄猫は力が強いので勝手に開けてしまう。開けにくければ網を破って出て行く。

夏に窓を閉めてエアコンのみというのは猫人も苦手。網戸にしても猫が外に出ないようにする方法をあれこれ考えた。夫が日曜大工で、出窓のサッシの網戸を猫が開けられないようにしてくれた。サッシの部屋内側に頑丈な網を張った建具(猫用網戸)を入れてサッシの網戸に猫の手が届かないようにした。和室の内障子のような感じに猫用網戸を入れて固定できるようなにしたのである。窓を開けて網戸から風が

入るようになった。猫も外の空気、音、匂いなどが入ってくるこの場所は気に入りのようだ。しかし居間の大きなサッシの場合、夫ではとても無理。そこで大工さんに頼むことになり、思いきって居間の南側にサンルームのような形でネコルームを増築することになった。南面と西面は全面サッシでそれぞれ猫用網戸を取付けてあるため充分風が入るようになった。爪とぎを置き、居間に置いていた3匹の猫トイレを移した。居間が少しすっきりした。暫くしたら壁には登れるように棚板を何か所か取付け、天井近くにはキャットウォークを設けようとも考えている。大工さんも猫を飼っていて、頼まなくても壁に取付ける爪とぎ用の板を用意してくれた。大工さんはこより田舎に住んでいるため猫は家の出入り自由。しかし住宅地の猫はそうもいかない。猫用網戸を取付けて、外へ出られなくても風や鳥の声、草木の匂いなどを感じさせたい。

「へたでいい へたがいい」

重松 絹枝 (S47家被)

へたの横好き、へたくそ、へたをうつ・。表題の「へた」とこれらのへたを較べれば違いは明らかだ。これは

絵手紙の世界で頻繁に使われる心優しき応援歌である。

絵手紙は、まず、描く対象をじっくり見定める。構図が決まれば筆に墨を含ませ輪郭線をかき、そのスピードは蟻が進むがごとくじりじりじわじわ。不思議に味のある線となる。次に顔彩で彩色。白地を効果的に残してあつさり塗るのがコツ。



絵ができれば葉書きの余白に「ほおっ」と気の利いた短いことばを墨で書き入れ、仕上げに印泥で落款を押せば画竜点睛!

絵手紙とは、小さいながらも絵と書の絶妙なコラボ作品なのである。ということは、自分の手には負えぬ大変な世界に踏み込んでしまったのかもしれない!と慌てる初心者に「大丈夫、絵手紙はへたでいい。へたがいい。」

と笑顔満開の師匠がたまうのである。能勢電鉄山下駅、または笹部駅から歩いて数分のところに大昌寺という端正なお寺がある。月に一度の教室に10人ほどが集まり、思い思いの作品に取り組んでいる。師匠は一枚一枚の作品を見ては何かしら良い点を見つけて必ずほめてくれる。中学生であれば60代の大人?であれ褒められれば気持ちがいい。へとつながるではないか。やがて作品

にその人なりの個性が滲み出るようになり、みんな違ってみんないいの世界が心地よく眼前に現れてくる。

年下の師匠と弟子たちは、教室の後の美味しいお茶会で立場が逆転する。六十の手習い、いと楽し。

溪のサクラを守る会

シルバーパワーと小学生の連繫
溝田 總子 (S32 文地)

川西市水明台地区が造成されてから40余年、猪名川に面した急斜面は赤松や竹が茂ってつるが絡まり、背丈を越す笹が密生していた。他方、定年を迎えた企業戦士たちが続々地元に戻ってきた。

その中の一人が繁みの中に天高く咲く桜に目を止めたのが8年前の秋、市の許可を得て調査に入り、光を奪われて徒長したり枯れたりしているエドヒガンの群落があることを知った。もと里山の段々畑であった所に野鳥が落した種から自生していたのだ。森を明るくしてサクラを守ろう！

翌2008年には『溪のサクラを守る会』を立ち上げ仲間を募った。道具を手にシルバー世代が次々集まってきた。毎週一回の作業日を決め、笹刈や間伐から開始、間伐材で小径やあずまやを作った。

7年経って現会員は61名、最多年齢層は70代。既に完成した4ヘクタール部分にはエドヒガンの成木80本の他に若木も100本以上育ち、コナラやクヌギなどの樹木、花木、草花、合わせて192種の植物が共生している。野鳥や昆虫、川には鯉、堆肥床にはカブト

ムシの幼虫など生物の多様性も実現した。が、保全に終わりは無い。2009年から、



対岸(清和台)から撮影

区域の小学校で3・4年生の環境体験学習が年間カリキュラムに組み込まれて、生徒たちがやって来るようになった。刃物の使い方を教わり共に竹や笹を刈る。猪名川のゴミ拾いもする。桜の種を拾って苗木に播き、芽生えた苗木を学校に持ち帰って育て、大きくなった苗木を再び森に植樹する。そして各自の名札をつける。栗拾いや冬イチゴ狩り、竹細工作りなど楽しみも沢山用意されている。住民向け『森のコンサート』が今春4度目を迎え400人の聴衆が集まった。新緑と、小学生が描いた舞台画を背景に、小鳥のさえずりも参加して市音楽家協会によるオペラ『魔笛』のハイライト公演は実に感動的であった。

今は、隣接の3ヘクタール部分を整備中であるが、こちらにもエドヒガンが20本ある。会員は皆元気で「まだ10年は頑張れるが、上手に繋いで行けば30年40年後も『溪のサクラ』は生き続けるかもしれない」と遠い未来に思いを馳せて語る。



短歌

春風秋雨

増田 久美子 (S26 理)

涅槃西風うけとめるごと山門の 仁王は拳を上げて立ち居り

うぐいすの初音一声確と聞く 団樂途切れ次の声待つ

初恋はいつにてありし春早く 木の扉越えて金縷梅の花

ひと思ふこころ辛夷の花透きて 遙かな空の真青にひらく

水の上に螢が灯るその昔 ものふどももの見し夢のごと

あるかなき風にゆられて白牡丹 はらりと崩る寂光の土

やはらかに陽を浴みていま溶けてゆく 滝の氷柱の放つ虹色

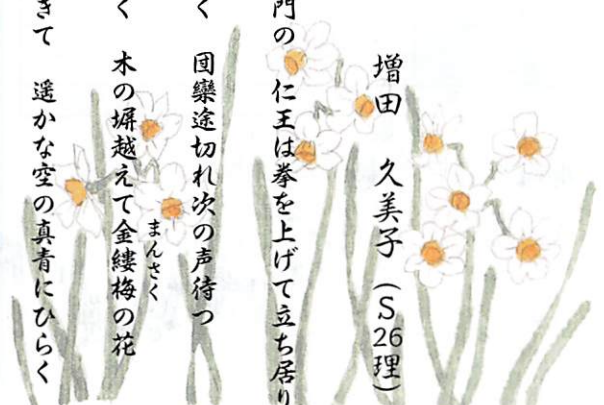
樹木匠の触れて叩いて耳あてる 夏の日差しは僅かな木陰に

仰向けに干乾びし儘いのち終ふ 水飲むことのあらざりし蟬よ

流き和紙にこぼるる萩の花の彩 秋の便りを誰に送らむ

くれなるを絞りつくして終はりたる 実南天の樹は黙深く立つ

たまきはる命の果ては千の風 光の蔭とひとを訪はなむ



事務局だより

平成27年度 佐保会兵庫県支部役員・各委員等

役職名	氏名	卒業年学部	地区
支部長	岩崎 雅美	S 44家被	明石市
副支部長	中井 昌子	S 43家食	伊丹市
庶務	山下 知子	S 39理物	神戸市東灘区
	松本佳代子	S 44文英	神戸市東灘区
	永福より子	S 44家住	神戸市北区
会計	橋本 陽江	S 50理修化	明石市
	谷本 彰子	S 49文英	神崎郡福崎町
会計監査	福永ヒロミ	S 45家被	姫路市
	出田美栄子	S 45文教	姫路市
棟の会 運営委員 (〇印代表)	〇田中 明子	S 43文幼	加古郡
	片寄眞木子	S 36家食	尼崎市
	山下 知子	S 39理物	神戸市東灘区
	鈴木美根子	S 42家食	神戸市西区
	中井 昌子	S 43家食	伊丹市
	永田登喜代	S 45理数	加古川市
ホームページ 研究会 運営委員 (〇印代表)	〇中村 京子	S 32理物	神戸市東灘区
	片寄眞木子	S 36家食	尼崎市
	鈴木美根子	S 42家食	神戸市西区
	桂 美穂子	S 46理植	姫路市
	丸岡 玲子	S 53理数	明石市
一般社団法人 佐保会代議員	山本三和子	S 55理化	たつの市
	中村 京子	S 32理物	神戸市東灘区
	山下 知子	S 39理物	神戸市東灘区
	村田 好子	S 39家食	小野市
	酒居 淑子	S 42家住	伊丹市
	中井 昌子	S 43家食	伊丹市
	岩崎 雅美	S 44家被	明石市
	松本佳代子	S 44文英	神戸市東灘区
一般社団法人 佐保会理事	橋本 陽江	S 50理修化	明石市
	瀬川 順子	S 41文英	神戸市中央区
	片寄眞木子	S 36家食	尼崎市

一般社団法人佐保会代議員、理事の任期はH26.8.1～H28.7.31

平成26年度事業
5月23日(金) 拡大役員会(於神戸市勤労会館)
6月15日(日) 支部総会(於生田神社会館)
8月24日(日) 地区リーダー会(於神戸市勤労会館)
11月19日(水) 第39回睦会(於楠公会館)(昭和46年卒業生担当)
平成27年度事業
2月1日(日) 支部だより(第38号発行(宝塚市担当))
2月21日(土) 支部だより(第38号、「佐保会報」「Today」等、全会員に発送)
2月28日(土) 支部だより(引き継ぎ会(宝塚市↓川西市・川辺郡猪名川町))
4月5日(日) 会計監査
☆事務局会議 全7回開催
平成27年度事業
5月22日(金) 拡大役員会(於神戸市勤労会館)
6月14日(日) 支部総会(於風月堂ホール元町)
8月30日(日) 地区リーダー会(於神戸市勤労会館)
11月11日(水) 第40回睦会(於楠公会館)(昭和47年卒業生担当)
平成28年度事業
2月1日(月) 支部だより(第39号発行(川西市・川辺郡猪名川町担当))
2月13日(土) 支部だより(第39号、「佐保会報」「Today」等、全会員に発送)
2月20日(土) 支部だより(引き継ぎ会(川西市・川辺郡猪名川町↓三田市))
4月2日(土) 会計監査
☆事務局会議 全6回開催
(参考)平成28年度について
(1) 支部総会 6月12日(日)(於ANAクラウンプラザホテル神戸)
(2) 「支部だより」第40号 編集は三田市の担当
(3) 「第41回睦会」は昭和48年卒業生の担当

平成26年度収支決算報告、平成27年度収支予算

支出の部

(円)

科目名	平成26年度決算	平成27年度予算
本部会費	696,000	675,000
総会補助費	95,752	150,000
通信費	229,228	250,000
印刷費	54,528	40,000
交通費	105,120	150,000
事業費	支部だより作成費	200,000
	睦会補助	70,000
	棟の会補助	70,000
	ホームページ研究会	30,000
	地区リーダー会	57,752
もより会補助	115,720	140,000
慶弔費	74,702	100,000
事務費	120,500	150,000
予備費	0	10,000
小計	1,919,302	2,105,000
次年度繰越	4,577,788	4,137,938
合計	6,497,090	6,242,938

資産内訳 (平成27年4月5日現在)

定額郵便貯金	2,450,000円
郵便貯金	789,797円
振替貯金	1,093,801円
現金	244,190円
合計	4,577,788円

収入の部

(円)

科目名	平成26年度決算	平成27年度予算
前年度繰越	4,693,894	4,577,788
本部会費	696,000	675,000
支部会費	970,000	900,000
貯金利息	160	150
本部より補助	94,956	90,000
雑収入	0	0
寄付	42,080	0
合計	6,497,090	6,242,938

<ご寄付いただきありがとうございました。>

編集後記

戦後70年の年に支部だよりを担当することになりました。編集作業を進める中、平和な暮らしの原稿の束を手元にして、多くの犠牲者を生んだ戦争の時代に思いを馳せ、改めて平和の尊さをかみしめる夏となりました。

編集作業も中盤にさしかかった9月、安保関連法が成立。10月にはTPP大筋合意、来年にはマイナンバー法が施行、また選挙法改正で選挙権年齢を18歳に引き下げるなど、世の中は激しく変動していきます。

このような中、編集作業は順調に進み「地区紹介」では新しい発見があり地域に対する愛着が一層募っていくのを感じました。委員同士の連帯感と親密感が高まっていく中、一步一步進めてきた編集の結果を皆様にお届け出来ますこと嬉しく思っています。多くの方々のご協力を得た上で、貴重な体験をさせて頂いたことに対し編集委員一同御礼申し上げます。

編集委員【川口・川田・佐久間・山段・鈴木・谷口・萬代・溝田】